別添２

既存住宅現況検査適正チェックリスト

『添付された既存住宅現況検査報告書の検査内容が、国土交通省が定める「既存住宅インスペクション・ガイドライン」及びそれに付随する検査内容となっている』ことについて、以下のとおり確認した。

１ 検査報告書内容と「既存住宅インスペクション・ガイドライン」との照査 【検査報告書への以下(1)～(3)の記載を確認する】	建設事務所	担当者	検査職員
(1) 検査業務の実施概要について			
・検査事業者の名称等、検査を行った検査人の氏名（資格名称及び免許等番号）	□	□	□
・検査実施日時、所要時間及び天候	□	□	□
(2) 検査対象住宅の概要について（依頼主から申告のあった内容等）			
・検査対象住宅の所在地、構造･階数･規模、建築時期、工法	□	□	□
・関連図書等の有無	□	□	□
(3) 現況検査の結果について			
・検査した部位と確認すべき劣化事象等(詳細別紙)の検査結果（写真を含む）	□	□	□
・対象住宅の状況により検査できなかった部位については、当該箇所とその理由及び写真	□	□	□
・部分的にしか検査できなかった部位について、検査できた割合	□	□	□
２ 検査報告書内容と「既存住宅インスペクション・ガイドライン」に付随する検査との照査【以下事項が想定されるが上記１の事項実施が必須】			
(1) 付随的に実施される検査業務について（依頼主の意向に応じて実施される内容）			
・リフォーム工事等に係る方法･費用等に関する情報提供	□	□	□
・住宅履歴情報の蓄積に関する情報提供	□	□	□
・検査した住宅に係る一定の不具合に対する保証の提供（瑕疵保険への加入等）	□	□	□
・敷地又は住宅に関する現行建築基準関係法令の規制内容等及び現行建築基準法への合致状況の調査等	□	□	□
・足場等を設置して実施する屋根等の検査	□	□	□
・不可視箇所に関して、小屋裏点検口及び床下点検口から進入して行う検査	□	□	□